

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ) フクオカジョウカクインダイガク	フリガナ) ジンブンガクブ	フリガナ) ウキタゼミ
福岡女学院大学	人文学部	浮田ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) ダルク	フリガナ) サクライ ミツキ	3	無
ダルク	櫻井 美月		

研究テーマ（発表タイトル）

社会人基礎力のベースをマスターしたチームが全て運営する多数講義の戦略と戦術とその効果
～社会認知的キャリア理論を応用して～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちは経済産業省の概念である社会人基礎力は、現代のような多様な社会に必要な能力と位置付けています。そして、それは学内で十分に得られると体感しています。この力を応用し、いかに成果に繋げることが出来るか、またその力を「分かりやすく伝えること」が、私たちの目的です。

今回の実験のフィールドに用いたのは全学部対象の同学年が受講する多数講義です。この実験は歴代のゼミの先輩方により2012年から行われていますが、私達の代は今までになかったもの「受講生全員で作上げる講義」を行うことを狙いとしています。

「社会人基礎力」とは

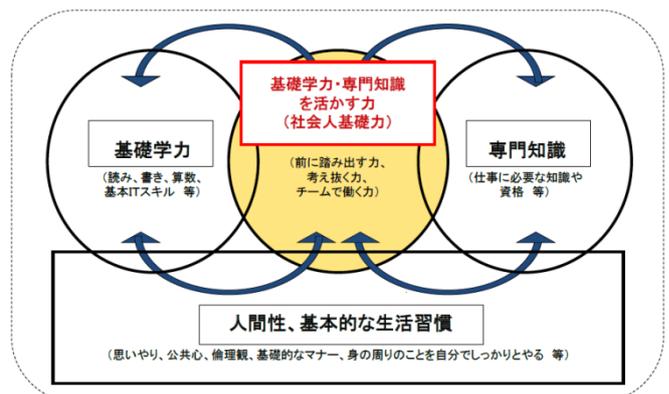


平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会（座長：藤田康雄法政大学大学院教授）にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な能力」を下記3つの能力（12の能力要素）から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

<3つの能力/12の能力要素>



<能力の全体像>



2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

社会人基礎力は必要な能力であることは確かですが、難しい問題も付きまといまいます。それは認知度の低さです。企業関係者でも社会人基礎力を知らない人がいるのが現状です。

また、私たちの独自の調査では、教育関係者は懐疑的に捉えているのに対して企業関係者は肯定的に捉えているという矛盾も生じています。

3. 研究テーマの課題

目的でも述べましたが、私たちは経済産業省の概念である社会人基礎力は、現代のような多様な社会に必要な能力と位置付けています。よって、それを実践的に学修する場として、私たちベースチームが全学部対象の約 180 名が受講する講義全てを運営することにより、その過程で社会人基礎力を体験することができることを検証します。

課題は 2 つ。

- ① 受講生全員で運営する講義を作り上げること
- ② 外部講師の方々に、講義自体に対して好印象をもってもらうことで受講生全員が評価を受けること

また、ベースチームを動かす原動力として社会認知的キャリア理論を研究の軸としています。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

この講義は受講生全員が評価を受けられるように戦略と戦術がたてられています。

戦略は私たちベースチームや運営協力者等、一部の参加者の評価ではなく、受講生全員で作りに上げる講義そのものが素晴らしいと評価を受けることです。

戦術は、優良な講義環境を外部講師に可視化させることです。学生が運営する 180 名の多数講義が整然と行われている様子を観て、体験した講師の方々は私たちが素晴らしいと思い、SNS や会合などで絶賛していただきます。結果として福岡女学院大学の学生の好評価につながります。それも個人ではなく 180 名全員が優良な評価を得ることができる、これが私たちの課題解決です。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

A) 前期に全学部対象 3 年生 180 名の学生により完全運営を行う

B) 講師の応接のアテンドシステムの開発

- ・正門でのお出迎え
- ・応接室に案内
- ・名刺交換、お茶出し、一連の内容の確認、機器の動作確認
- ・司会進行（外国人の場合は英語で）
- ・終了後のリフレクション、感想の集計
- ・感想と礼状の発送
- ・次回の打合せ、講師への確認

これら全てを学生自身が行うためのシステムの開発



C) 学生による講義運営のマニュアルの開発

- ・次年度に向けてのマニュアルの整備

15 回の内 13 名が外部講師の方々です。政治家、外交官、弁護士、社長など毎年異なる方々が来られるため、画一されたマニュアルではなく様々なケースに対応できるものを作っています。



D) 社会人 50 名対象のアンケート調査 (2016 年 8 月 31 日)

6. 結果や今後の取り組み

私たちは受講生全員で講義を作り上げることに成功しました。また、講義運営を行っていくことで学修者が社会人基礎力を体験学修することができると導き出しました。

今後の取り組みとして、学科の 1 年生対象の多数講義運営を行います。

1 年生のうちから社会人基礎力を養わせ社会への意識を早めに持たせること、そして学内全体が評価を受けることが狙いです。

7. 参考文献

- ・エドガー・H・シャイン 『問いかける技術』、英知出版、2014 年 11 月 26 日
- ・アルバード・バンデューラ 『激動社会の中の自己効力』、金子書房、1997 年 11 月 10 日
- ・福岡女学院大学 浮田ゼミ編著 『心をつかむビジュアル・ストリート型プレゼンテーション』、梓書院、2015 年 5 月 15 日
- ・経済産業省 社会人基礎力、www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/、2016 年 10 月 17 日
- ・エリザベス＝バークレイ、パトリシア＝クロス、クリア＝メジャー 『協同学修の技法』、ナカニシヤ出版、2009 年 9 月 1 日
- ・社会人基礎力に関する研究会『社会人基礎力に関する研究会－「中間取りまとめ」－』2000 年 1 月

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。